

静岡県 西伊豆町

# 職員募集案内



田舎のちっちゃな町だけど、  
意外と面白い町ですよ！

やる気に満ちたあなたを待っています

西伊豆町役場 ホームページ >>>>

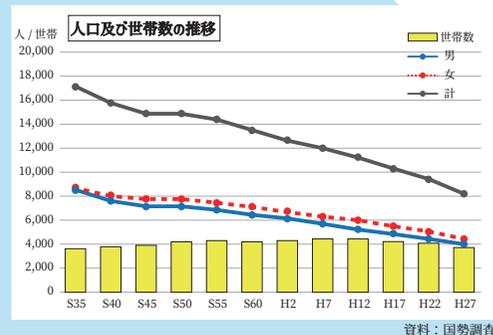


問合せ/資料請求/申込  
西伊豆町役場 総務課 総務係

〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科 401-1  
TEL : 0558 - 52 - 1111

## 西伊豆町のすがた

平成 17 年 4 月 1 日に賀茂村と西伊豆町が合併し、現在の西伊豆町が誕生しました。  
本町は、静岡県東部、伊豆半島西海岸のほぼ中央に位置し、西側は駿河湾に、東側は急峻な山並みの天城山系が連なり、北と南にその支脈が海岸まで迫っています。  
北は伊豆市、南は松崎町、東は河津町に接し、東西約 12.5km、南北約 12km で面積は 105.54km<sup>2</sup>の町域です。



## 風土

本町の気候は、黒潮の影響を強く受け、年間を通じて温暖な海洋性気候で、最近 3 年間（平成 28～30 年）の平均気温は約 17.2℃と比較的過ごしやすいものの、近年は地球温暖化の影響もあり、上昇傾向にあります。  
また、年間降雨量は平均約 1,640mm と農作物の栽培に適した条件を備えています。  
本町は、富士箱根伊豆国立公園及び名勝西南海岸の指定を受けており、また、平成 30 年度には伊豆半島ジオパークとしてユネスコ世界自然遺産に認定されるなど、美しい自然景観に恵まれています。また、急峻な山岳が海の近くまで迫り、全般的に起伏が激しく、中小の河川が駿河湾に注いでいるのが特徴です。



人口の社会増減を見ると、毎年、転出者が転入者を上回っています。自然増減を見ると、毎年、死亡数が出生数を上回っており、その差は年々大きくなっています。  
また、年間の増減数は、ほぼ毎年200人を超える減少数となっています。

## 人が温かい町

田舎ならではの近所付き合いはあるものの、仲良くなると非常に人の温もりを感じられる町です。地域の行事に参加して皆でワイワイ楽しんでください。（もちろん慰労会も！）  
ご近所さんから魚や野菜をもらえるまち。



## 豊かな自然・観光

山あり・海あり・夕陽あり！  
春は新緑を感じながらハイキングを楽しみ、夏は海水浴や BBQ、秋は日本一の夕陽を見ながらまったりと、冬は西風（季節風）が強い中、健幸（体力）づくりにと自然を感じながら生活できます。



## 文化

小さな町でも多くの文化財があります。国指定天然記念物の「堂ヶ島天窓洞」など 34 個の文化財があり、子どもは猿っこ踊り、大人は三番叟や神楽など多くの文化を楽しめます。



人材不足につき若者は強制参加！（笑）



## 安心した子育て環境

子どもの数は年々減少していますが、子育ての環境は充実しています。認定こども園・小学校・中学校を統合し高台移転を検討しており、災害から子どもを守ります。認定こども園の授業料・給食料は無料！医療費も 18 歳まで無料と安心して子育て出来ます。

# 西伊豆町役場ってこんなところ

## ● 若手職員がチャレンジできる職場

ふるさと納税・ロケ支援・健幸づくりなど、町の大きなプロジェクトに担当課以外の職員も参加できる環境が整っています。（さまざまな事業を体験できます。）

## ● 先進地視察も積極的！

まちづくり先進地として有名な、島根県【海士町】や岡山県【西粟倉村】などの視察などを行い、西伊豆町のまちづくりに役立てています。

## ● 外国人講師との交流も

ALT（外国語指導助手）ともフレンドリーに交流ができます。インバウンド対策としてもALTとの交流は非常に友好的です。

## ● 町民と一緒にまちづくり

町民と一緒にまちづくりができるのも小さい町ならではの魅力です。町民の方が喜んでくれる町と一緒に考え行動する。皆でまちづくりができる町が西伊豆町です。

# 求める人材

## ● やる気、元気がある。チャレンジ精神が旺盛

これからのまちづくりに必要な若者・よそ者・ばか者の意見！この方達と町民が意気投合した時、爆発的な力を生み出します。そのため本町の職員は両者の間に入り色メガネとして距離を縮める役割を担います。こんな仕事にチャレンジしたい気持ちのある職員を求めています。

## ● 何事にも誠実に取り組む

小さな町では一人の職員が持つ業務は少なくありませんが、誠実に取り組んでいただける職員を求めています。皆で協力して業務を進めていきましょう。

## ● 奉仕と思いやりの心

職員になると地域の人材不足を補う役割も出てきます。地区の消防団やお祭りへの参加など、地域に溶け込んで、いち町民として町を盛り上げてくれる思いやりのある職員を求めています。

西伊豆町は  
こんな事業にも  
取り組んでいます！

ふるさと納税事業

財源確保に強い危機感を抱いた職員がPTを結成し、ふるさと納税の拡充に取り組みました。その結果、平成25年度に約400万円だったふるさと納税金額は、その後3億、10億と増え続け、令和2年度には約16億円にまで達し、住民税等年間の税収が約8億円の小さな町に、その約2倍の寄付を受ける仕組みをつくり上げました。



はんばた市場

魚屋などの商店が減少し、漁師が獲った魚や農家が作った野菜などは町外へ流れ、地元で売買されなくなったことから、企業組合と町が連携し、生産者と消費者を直接繋ぐ新しい直売所として、令和2年4月に「はんばた市場」をオープンしました。「はんばた」とは、西伊豆の方言で「浜端」、つまり海のすぐそばという意味。安くて新鮮な魚や野菜を求め、地元や観光客で仁科の浜端は毎日賑わっています。

プロジェクトチーム

「ふるさと納税」や「サンセットコイン」、「ロケさぼ西伊豆」など、課・局、役職を問わずやる気のある職員が自主的にPTを結成し、様々な事業を推進しています。行政の仕事は、比較的縦の組織が強いイメージがありますが、当町は職員の数が少ないため、横の連携を大切にしており、他課・局の職員が一丸となって仕事をしています。

サンセットコイン事業

令和2年4月、世界的に新型コロナウイルスが拡大し、町内経済が疲弊する中、町は50人のPTの協力を得ながらわずか1ヶ月という準備期間で、カードによる全町民への1万円の給付と、協力事業所92店舗に決済端末を配布し、5月からサンセットコイン事業をスタート。令和2年度末までに約2億円の経済効果をあげるとともに、コロナにより閉店するお店を1軒も出さないといった成果を上げました。今では町内のお店で、お年寄りがキャッシュレス決済でお買い物をする姿が多く見られ、高齢化率50%の町が「おしゃれなまち」に様変わりしました。

ツッテ西伊豆事業

「手ぶらで船釣りを楽しみたい」「自宅に帰って食べきれない魚を売ったり、食べたりして帰りたい」、そんな観光客の要望と、「漁師がいない」「魚の水揚げが少ない」など、町の課題もあわせて解決するため導入したのが「ツッテ西伊豆」です。釣り人は魚を売るという漁師感覚が楽しめ、買い物客は安くて新鮮なお魚が手に入る、船長には船代が入り、魚を買い上げるはんばた市場も儲かる…。誰もがハッピーになれるこの仕組みを考案したのは釣り好きな役場職員。あなたの趣味も、まちづくりに生かせるかもしれませんね。

総合窓口事業

西伊豆町の窓口は、「総合窓口システム」を採用しており、窓口職員は、戸籍や住民の異動に係る手続き（出生、死亡、転入、転出）から、住民票や印鑑証明書の証明発行、マイナンバーカード交付、年金受付、パスポート受付など、一人でいくつもの業務をこなし、マルチな活躍をしています。

ロケさぼ西伊豆事業

ドラマ「愛していると言ってくれ」「ごくせん」「黒革の手帳」や、映画「真夏の方程式」「弱虫ペダル」「たぶん」など、西伊豆町内にはこれらのドラマや映画の撮影ポイントが数多くあります。役場職員PT、議員、商工会・観光協会の会員等で組織された「ロケさぼ西伊豆」は、こうしたドラマや映画、積極的なロケ誘致活動を行っており、最近では「出川哲郎の充電させてもらえませんか？」の番組内で、沢田公園露天風呂を紹介していただきました。例えばこの番組、テレビ局に撮影依頼するとどれ位の金額がかかると思いますか？答えは何と4,590万円！今回は無料で撮影してもらい、西伊豆町をPRすることができました。

津波防災地域づくり事業



人の命を守る、とてもやりがいのある仕事です！

健幸づくり事業

高齢化率が県内で一番高い当町では、介護保険料も県内で一番高い時期がありました。そのような現状を改善するため、新たに「健幸づくり事業」をスタートさせ健康寿命の延伸に取り組み、現在では介護保険料を引き下げることになりました。

納税事業

わたしたちが豊かで安心・安全な暮らしができるよう、住んでいるみんなが税金を出し合います。西伊豆町は、納税意識の高い住民のみならず、みなさまのご協力のもと、個人住民税の収納率が3年連続県内1位です。

マイナンバーカード交付率  
全国4位（県内1位）

高齢化率が高い町だからこそ、デジタル社会で効果を発揮するマイナンバーカード取得を積極的に推進し、住民の利便性を図ります。西伊豆町は、マイナンバーカードの申請・取得をサポートするにあたり、いち早く無料写真撮影を導入したり、職員が町内の企業や団体に出向く「出張申請」を試み、さらに、マイナポイント（5,000ポイント）に加え、サンセットコイン（5,000ポイント）を上乗せするなど、複数の課の職員と知恵を出し合いながらコラボレーション企画を実現しました。その結果、今では町民の5人のうち3人はマイナンバーカードを持っています（交付率60%）。

災害派遣トイレ  
ネットワークプロジェクト  
みんな元気になるトイレ

災害大国日本でこれから全国的に増えて行くであろうトイレトレーラーを全国で3番目に導入！災害派遣要請があれば、職員自らがトイレトレーラーを運転して被災地に駆け付けます！

西伊豆町役場には、  
チャレンジできるフィールドが  
たくさんあるんだね！





ふじい たかふみ  
**藤井 崇史**  
所属：総務課 総務係  
入庁：平成21年

Q1. 志望動機

私は、生まれも育ちも西伊豆町です。この先もずっと西伊豆町で生活していこうと考えており就職先を探していたところ、西伊豆町役場が職員を募集していたため就職を希望しました。

Q2. どのような仕事を担当していますか？

「役場」という組織全体を円滑に運営するための事務を担当しています。私が主として担当している業務は、職員の給与に関することと、選挙に関することがあります。特に今年度は選挙が4つあるため特に大変な年度となっております。

Q3. 仕事でやりがいを感じる時は？

総務課の業務は、特に正確性が求められる業務です。選挙はその

中でも間違いが許されない業務で、とても緊張感のある業務です。ミスもなく執行出来た時には、安堵感と共に強い達成感を感じることが出来ます。

Q4. 職場の雰囲気は？

とても良い雰囲気だと思います。仕事については厳しいところもありますが、相談に対して上司・先輩とも色々なアドバイスをいただくことが出来ます。

Q5. 休日の過ごし方は？

私は、車の運転がとても好きで休日にはよくドライブしています。伊豆半島には自然も多く、魅力的なドライブコースも多いです。車やバイクの運転が好きな人にはとても魅力的なポイントだと思います。



えびた まい  
**江畑 舞**  
所属：窓口税務課 窓口年金係  
入庁：平成22年

Q1. 志望動機

私は、自然豊かな西伊豆町が好きで、生まれ育った地元の役に立つ仕事に就きたいと思い志望しました。

Q2. どのような仕事を担当していますか？

窓口税務課は、各種届出の受付やマイナンバー関係、税金に関することなど幅広く担当しており、私は主に、戸籍関係や人権、海事事務を担当しています。

Q3. 仕事でやりがいを感じる時は？

受付の時、「親切にわかりやすく説明してくれてありがとう」と喜んでいただけた時にやりがいを感じます。

Q4. 職場の雰囲気は？

困った時は気軽に相談出来る、フォローし合える職場です。

Q5. 休日の過ごし方は？

子供たちと散歩に出掛けたり、テレビを見たりと、家族でのんびり楽しく過ごしています。



たかぎ のりこ  
**高木 典子**  
所属：健康福祉課 医療保険係  
入庁：平成14年

Q1. 志望動機

元々、西伊豆町に戻って看護師の仕事をするつもりでしたが、西伊豆町役場で保健師の募集があったため応募したところ採用いただいたため、西伊豆町役場で働かせていただくことになりました。

Q2. どのような仕事を担当していますか？

特定健診・特定保健指導・重症化予防といった保健指導を主として担当しています。

Q3. 仕事でやりがいを感じる時は？

指導された方の数値が改善したり、アドバイスしたことが「役に立ったよ～」と言われるような時は、やりがいを感じます。

Q4. 職場の雰囲気は？

女性が多いので、割と話しやすく相談しやすい環境で、働きやすいと思います。

Q5. 休日の過ごし方は？

普段仕事をしているので家で家事をしたり、身体を動かすことも好きなので、余った時間に外にハイキングに出たりしています。



つちや ちはる  
**土屋 千春**  
所属：教育委員会 学校教育係  
入庁：平成28年

Q1. 志望動機

私は、元々旅行会社に勤めており、時間帯がとても不規則な仕事だったため、将来を考え転職しようと思っていました。両親と姉が公務員だったこともあり、転職するならば公務員を目指すという気持ちでいました。また、祖父母の家が西伊豆ということと、両親も退職を機に西伊豆町に戻ってきたので、それならば西伊豆町で働きたいと思い、西伊豆町の職員を目指すことにしました。

Q2. どのような仕事を担当していますか？

認定子ども園関係、こども子育て支援関係、それに関わる県や国への補助金や交付金の申請作業、また、学校関係の調査報告物等を担当しています。

Q3. 仕事でやりがいを感じる時は？

様々な分野の仕事を学ぶ機会があるということです。町の方々から質問や要望を受けた時には、やはり誠実に答えたいので、そのためには

町の制度だけではなく、県や国のこと、他の自治体のことなどもある程度頭に入れておく必要があります。そういったことの勉強や更新の作業に忙しい日々ではありますが、そういったことを学ぶ機会があるということにやりがいを感じています。

Q4. 職場の雰囲気は？

私は、昨年の4月に育休から復帰し、現在短時間勤務をさせていただいています。短時間勤務となかなか仕事が回らないこともありますが、課をまたいで色々な方々に助けをいただけており、そういった皆さんの協力的な雰囲気に感謝しています。

Q5. 休日の過ごし方は？

1週間溜まった家事からはじめ、余った時間にこどもと一緒にゆっくり散歩に出掛けたり、海や川に遊びに行きます。自然豊かな環境で子育て出来るということが貴重なことであると思っています。



しおや ともあき  
**塩谷 奉明**  
所属：産業建設課 建設係  
入庁：平成18年

Q1. 志望動機

私は、生まれも育ちも西伊豆町で、大学進学を機に東京へ4年間行きました。就職活動をしていく中で、地元西伊豆町に帰って仕事したいと思い、せっかく西伊豆町に帰るならば、西伊豆町のためになる仕事をしたいと思い、西伊豆町役場を志望しました。

Q2. どのような仕事を担当していますか？

町内の道路・橋・河川、そういったところの維持管理を主に担当しています。その中でも、私が主として担当している業務は、橋や道路の補修工事等の設計業務をメインで行っております。

Q3. 仕事でやりがいを感じる時は？

私の業務は、橋や道路を作ったり直したり、そういったことをメインでやっていますので、作ったものが半永久的に残ります住民の方々の生活に直結します。そういった意味では、とても大きな責任感が伴いますが

それと同時に、住民の方々に「道を直してくれてありがとう」「とても通りやすくなったよ」などと声を掛けていただくと、その責任感以上にやりがいを感じます。

Q4. 職場の雰囲気は？

自分の意見を上司・部下に伝えやすい雰囲気です。また、悩んだ時や、仕事で「この先どうしたら良いかわからない」といった壁があった時にも上司に相談しやすい雰囲気ですので、とても充実しています。

Q5. 休日の過ごし方は？

西伊豆町は海・山・川がとても近いので、夏はこどもと一緒にほぼ毎週川や海に行ってます。他には、庭でBBQをしたり、伊豆近辺はゴルフ場がとても多いので、職場の先輩や地元の仲間たちとゴルフに行ったりしています。



のむら  
**野村 あみ**  
所属：まちづくり課 観光係  
入庁：令和2年(静岡県から西伊豆町へ派遣)

静岡県 交流職員

Q1. 志望動機

私は、令和2年度より静岡県から派遣されて西伊豆町に来ました。昨年度は、介護保険係でしたが、今年度は入庁時から興味があった観光係の仕事させてもらっています。

Q2. どのような仕事を担当していますか？

主な担当業務は、町内遊歩道の管理や花・ガラスの振興、イベント実行委員会などがあります。

Q3. 仕事でやりがいを感じる時は？

日々突発的に業務が発生しますが、一つ一つ対応していき、自分の働きかけにより問題が解決すると達成感ややりがいを感じます。

Q4. 職場の雰囲気は？

みんな仲が良く気さくな人ばかりです。担当業務以外の仕事も協力して遂行していて、チームワークの強さを感じます。また、とにかく人が温かく、単身で引っ越してきた私を家族のように心配してくれて、とてもありがたかったです。

Q5. 休日の過ごし方は？

同期や西伊豆町に来てから出来た友達と、時には一人でもふらっと夕陽スポットや観光スポットに行き、西伊豆町の自然を堪能しています。西伊豆町は自然が豊富で、海や夕陽は、パンフレットや画像で見ると違って綺麗で感動しました。

西伊豆町にやってきて住んでみたものの、仕事以外で何をしたらいいか不安！  
そんな不安を取り除く休日の楽しい過ごし方を紹介します。

## ダイビング(マリンスポーツ)



全国各地からダイバーが訪れる  
人気ポイントがこんなに近くに!!

西伊豆のきれいな海、透明度も高く、起伏に富んだ岩場などダイバー憧れのポイントが目白押しです。  
また、海の中にある四季を感じる事のできる伊豆の海。魚影も濃く回遊魚も多く見ることができます。



## 吹きガラス体験

硅石の鉱山があったことから、ガラス文化の里としても観光展開している町。代表的な「かも風鈴」は1つ1つ手作りのため全ての模様や音色が異なります。あなただけの世界で1つだけのガラス製品を作る体験も可能です。



海も山も川も!!

## 西伊豆町

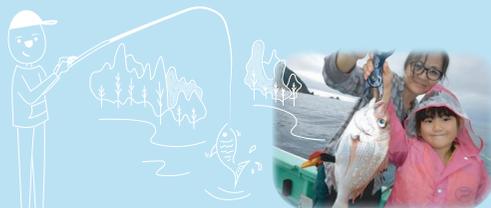
## 山葵(さわび)収穫体験

「静岡水わさびの伝統栽培」として世界農業遺産に認定されたわさびの収穫体験ができる貴重な地区です。わさび農業・収穫方法のレクチャーを受け収穫体験ができます。

わさび1本のお土産付き!!



## 釣り



海が近い! そんな西伊豆で釣りをしないのは、勿体ないと思いませんか? 岸壁からの釣りはもちろん、遊漁船フィッシングは年間を通して様々な魚と遭遇できるはずです。釣った魚を自分でさばいて食べるなんて夢のような経験ができます。



## 交通のご案内



### 電車・バス

東京駅	(新幹線 約1時間)	三島駅	(伊豆箱根鉄道 約30分)	修善寺駅	(東海バス 約1時間15分)	西伊豆町
名古屋駅	(新幹線 約1時間40分)	三島駅			(東海バス 約2時間)	西伊豆町
新大阪駅	(新幹線 約3時間)	三島駅				

### 車

東京 I.C	(約1時間)	沼津 I.C	(約1時間30分)	西伊豆町
名古屋 I.C	(約2時間30分)	沼津 I.C		

### フェリー

清水港	(駿河湾フェリー 約1時間5分)	土肥港	(東海バス 約30分)	西伊豆町
-----	------------------	-----	-------------	------

ここに住めば、毎日絶景の中で生活できる。  
ゆっくり流れる田舎時間の中で、  
都会では体験することのできない時間を  
是非一緒に過ごしましょう。



## “ふるさと”と言いたくなる夕陽のまち 西伊豆町

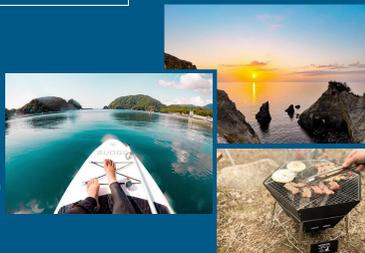


製作：小村 麻衣花 (西伊豆町 地域おこし協力隊)

### 移住1年目の私が感じる西伊豆町

#### 海・山・川、自然はなんでも選びたい放題！

休日は、海遊びを思う存分満喫しています。  
ダイビング、シュノーケリング、SUP等々…朝の気分で海に出て行って  
やりたい海遊びができる最高の環境です。  
でも…陸も楽しまないと勿体ない…！たまには海をお休みして、仲間  
たちとBBQをしたり、インスタ映えるような景色を求めて町内を走り  
まわったりしています！



#### 町民の皆さんがまるで家族

単身で西伊豆町に移住してきた私。早く友達作りたいな〜…とか思  
う暇も無く、ご近所さんや職場の方々、いや町民の皆さんがまるで家  
族のように関わって下さって、毎日「楽しい！」で溢れています。  
そしてお裾分けも頻繁に頂き、食料に困ったことも、これから困る気配  
も一切ありません！（笑）

#### 西伊豆町役場で働く

西伊豆町役場の職員は、とにかく町民の皆さんとの距離が近い！町民の生の声を聞きながら、西伊豆町をより良く  
するために日々業務に励んでいます。私は現在、主にまちづくり課で勤務していますが、どんなに忙しくても和気あいあ  
いとした職場の雰囲気は変わることなく、若手職員からベテラン職員まで、皆さんとても居心地良く働いているな〜と  
肌で感じています。期待を裏切らない環境が、ここ、西伊豆町役場にはあります！